

既刊論文の電子化に伴う著作権委譲手続きについて

編集委員会

日本行動計量学会では、独立行政法人科学技術振興機構（以下、JST）の支援を受け、本学会欧文誌「Behaviormetrika」および和文誌「行動計量学」に掲載された論文記事を創刊号（1974年）に遡って電子化し、JSTで運用している電子アーカイブサイト J-STAGE（Journal@rchive）にて全文公開（無償での公開）しております。電子アーカイブ化・公開には、創刊号からの掲載論文の著作権行使（全文電子公開）の同意を論文著者から得る必要があります。1999年の総会以降刊行された論文については、著作権は日本行動計量学会に帰属するよう規定が明確に定められましたが、それ以前に掲載された記事等の著作権は、明確に定められておりませんでした。電子化し公開するに当たっては、各論文の著者全員に、本学会への著作権委譲についての文面をお送りし、多くの著者のご了解をいただきました。現在までにお返事をいただいていない著者の論文は、本来は著者からの権利委譲を待つべきですが、「行動計量学」「Behaviormetrika」それぞれ全体の研究上の利便性、研究者の利用の便宜等を考えて、すでに電子化公開しております。著作権委譲についてお返事をいただいていない著者で、電子化し公開することが不都合とお考えの方は、和文誌、欧文誌それぞれの編集委員会までご連絡下さるようお願いいたします。公開を中止するなど、学会として誠意をもって対応いたします。

なお、著作権委譲について行いました手続き等は会報123号（2009年）に掲載され、HPの「学会誌」の「著作権規定」に掲載されていますので、参照ください。